

講義名	地域社会学			授業形態	
担当教員	正井 佐知		開講期・曜日・時限	後期 金曜日 3 時限	
	単位数	2	履修開始年次	2 年生	ナンバリング・コード SOC280

主題と概要

地域社会は、私たちの生活と密接に結びついた身近なものです。地域社会には多様な側面があり、多様な意味を持つ場でもあります。この授業では、地域社会における生活と地域社会が抱える課題について、教育、福祉、まちづくりなど、6つのテーマを通じて理解することを目的とします。
毎回、各テーマに関連するトピックを取り上げます。例えば、子ども食堂、環境問題を契機とした住民運動、アニメなどのサブカルチャーを活用した地域おこしといったトピックです。具体的な事例を通じて、社会科学的な視点で地域社会について考えます。

到達目標

- ・授業で取り上げたトピックを通じて、地域社会について理解し考えられるようになることを目標とする。
- ・地域社会学に関連する事例を日常生活の中で発見できるようになることを目指す。

提出課題

毎回講義を受講した後、LMS（学習管理システム）等でワークシートやコメント等を提出する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

各回のコメント・質問に対し、応答する。
LMS（学習管理システム）等で応答することもある。

評価の基準

課題40%、定期試験60%
【課題】講義毎のワークシートやコメント
【定期試験】定期試験を実施する

履修にあたっての注意・助言他

授業で取り上げた事例について自分でも調べておくこと。また、普段の生活、ニュースから地域社会に関連する内容をチェックしておくこと。

教科書

・使用しない。

参考図書

・新・地域の社会学。 森岡清志 有斐閣 2,640 9784641222410

その他

授業計画

- 第1回：地域社会とは何か
本科目の概要について、「地域」と「地域社会」の概念的整理を通じて理解する。
予備内容：シラバスをよみ読んでおく（120分）
復習内容：授業資料を用いて、復習課題に取り組み。分からない内容がある場合は質問を準備する（120分）
- 第2回：変容する地域社会
地域社会の演変とそれによって出現した社会的課題について理解する。
キーワード：都市化、農地拡大政策、向都離村、中心市街地の空洞化
予備内容：授業資料を読んでおく（120分）
復習内容：授業資料を用いて、復習課題に取り組み。分からない内容がある場合は質問を準備する（120分）
- 第3回：変容する地域社会
地域社会の演変とそれによって出現した社会的課題について理解する。
キーワード：過疎化、限界集落、集落支援員制度、地域おこし協力隊
予備内容：指定されたテキスト範囲・配布資料を読んでおく（120分）
復習内容：授業資料および教科書等を用いて、復習課題に取り組み。質問がある場合は質問を準備する（120分）
- 第4回：地域社会と少子高齢化
少子高齢化が地域社会や暮らしに与える影響について理解する。
キーワード：地域コミュニティ、地域団体、環境団体、町内会、災害時避難行動要支援者
予備内容：授業資料を読んでおく（120分）
復習内容：授業資料を用いて、復習課題に取り組み。分からない内容がある場合は質問を準備する（120分）
- 第5回：地域社会と少子高齢化
少子高齢化が地域社会に与える影響について理解する。
キーワード：個人化、社会的孤立、相対的貧困、子ども食堂、居場所
予備内容：授業資料を読んでおく（120分）
復習内容：授業資料を用いて、復習課題に取り組み。分からない内容がある場合は質問を準備する（120分）
- 第6回：地域社会と少子高齢化
少子高齢化が地域社会に与える影響について理解する。
キーワード：地域包括ケアシステム、高山型サービス
予備内容：授業資料を読んでおく（120分）
復習内容：授業資料を用いて、復習課題に取り組み。分からない内容がある場合は質問を準備する（120分）
- 第7回：地域の課題と住民運動
地域の課題を住民が自ら解決しようとする手段の一例として住民運動を理解する。
キーワード：住民運動、水保団、大気汚染、環境権
予備内容：授業資料を読んでおく（120分）
復習内容：授業資料を用いて、復習課題に取り組み。分からない内容がある場合は質問を準備する（120分）
- 第8回：地域の課題と住民運動
地域の課題を住民が自ら解決しようとする手段の一例として住民運動を理解する。
キーワード：公害問題、多世帯・多世帯、後継生協
予備内容：授業資料を読んでおく（120分）
復習内容：授業資料を用いて、復習課題に取り組み。分からない内容がある場合は質問を準備する（120分）
- 第9回：まちづくりと地域活性化
まちづくりと地域活性化について理解する。
キーワード：まちづくり/地域づくり、歴史的環境、景観保護、記憶の継承、保護/保全、伝統の創造
予備内容：授業資料を読んでおく（120分）
復習内容：授業資料を用いて、復習課題に取り組み。分からない内容がある場合は質問を準備する（120分）
- 第10回：まちづくりと地域活性化
まちづくりと地域活性化について理解する。
キーワード：持続可能な観光、スベツカル、インタレスト・ツーリズム、アートと観光、アニメと推し活
予備内容：授業資料を読んでおく（120分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="checkbox"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="checkbox"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="checkbox"/> エ：グループワーク
<input type="checkbox"/> オ：プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

社会の仕組みや働き、日常生活と文化、人々の心理など、現実社会の様々なテーマに取り組み、よりよい人間社会を創造することができる能力を身につける。社会構造や社会制度といった社会の仕組みや働き、地域社会における人びとの生活や文化などについて専門的な知識を有し、さまざまなことからの社会における役割や意義を理解し、考えることができるようになる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

「Ryuka Portal」を通してレポート提出などを行う。
理解を深めるために、写真や映像などの視聴覚教材を用いながら講義をします。

実務経験の有無及び活用

行政機関での勤務経験や障害者への支援経験のある講師が経験を踏まえて講義を行う。

備考